

**Q**

## 医療体制について

**A**

## 病院群輪番制を7市町で構成

金泉婦貴子 議員

- 質問一** 妊婦健康診査の受診率は、
- 二 駆け込み妊婦の搬送ケースは、
  - 三 妊婦健診を受診しない理由は、
  - 四 広域救急医療体制の現状は、
  - 五 救急患者搬送先の把握状況は、
  - 六 救急患者搬送時間の把握状況
- 答弁一（市長）** 受診率は、平成17年度89・9割、18年度94・9割、19年度97・4割である。
- 二 坂戸・鶴ヶ島消防組合では、



- 駆け込み妊婦の搬送統計を取っていないが、妊婦の自宅から病院までの搬送は、18年が37件、19年は31件とのことである。
- 三 当市では、実態調査は行っていないが、奈良県の調査では、経済的理由が31・3割で5例、望まない妊娠が12・5割で2例となっており、多様な要因があると考えられる。
- 四 当市は、7市町で構成される
- 坂戸飯能地区病院群輪番制により、休日・夜間の救急体制が整備されている。
- 五 消防組合の19年統計では、約5000人を搬送し、関越病院、埼玉医科大学国際医療センター、坂戸中央病院等が主な搬送先のことである。
- 六 消防組合の19年統計では、消防署から病院までの平均所要時間は、36分30秒とのことである。
- ◎**その他の質問** 保護者等とのトラブルについて

**Q**

## 指定管理者制度について

**A**

## 今後も導入を検討していく

藤原 建志 議員

- 質問一** 各施設の経費の節減、物件費の低減はいくらか。
- 二 施設利用者の推移は、
  - 三 ふれあいセンター、逆木荘の安全・安心、衛生面の指導は、
  - 四 指定管理者制度移行による余剰人員は何か。
  - 五 他施設の指定管理者制度導入予定は、
- 答弁一（市長）** 「鶴の里ふろいで」は年間1348万円。「逆木荘」は1103万円。「上広谷児童館」は604万円。「きいちご」は248万円の減額となっている。
- 二 「鶴の里ふろいで」は1日当たり7人増。「逆木荘」は9人減。
- 三 「上広谷児童館」は14人増である。
- 四 1月18日の水質検査で、1か所の浴槽から基準値の9倍のレジオネラ属菌が検出され、皆様に大変ご心配をかけ、おわび申し上げます。指定管理者に対しては、日常業務の中で衛生管理や緊急時の迅速な対応について、従業員の研修や訓練を実施させている。
- 五 3施設で6名となっている。
- 六 市民活動推進センターや農業交流センターでは、指定管理者をはじめ、効果的な手法を検討。他の施設も導入を含めた検討を行う。
- ◎**その他の質問** 共栄地区のまちづくりについて



上広谷児童館